

**未来への森づくり県民意識アンケート
調査報告書**

**令和2年7月
静岡県森林計画課**

I 調査概要

1 調査の目的

平成 18 年度から、「森林（もり）づくり県民税」を財源とし、「森の力再生事業」による荒廃森林の整備を進めてきた。この調査は、「森の力再生事業」への県民の評価と、事業継続への県民の意向、課税についての負担感等を把握し、事業の見直しや税制度設計などの基礎資料作成を目的として実施した。

2 調査の設計

- (1) 調査の方法：往復郵送調査法
- (2) 調査の期間：令和 2 年 6 月 1 日（月）～7 月 3 日（金）
- (3) 調査の対象者：県内の市町に居住する 18 歳以上の男女 5,500 人
- (4) 対象者の抽出手順（方法）：層化二段無作為抽出法
 - ①県内の市町（23 市 12 町）を、5 地域の層に分割（伊豆、東部、中部（静岡市）、志太榛原・中東遠、西部）に分類
 - ②さらに各地域を市部と町部に分類し各層とする
 - ③各層における 18 歳以上の人口数により、5,500 の標本数を各層別に比例配分する
 - ④各層内において、市は全て調査対象（静岡市・浜松市にあつては全区）、町は最低標本数が 18 以上となるように、伊豆半島地区 3 町、東部地区 4 町、志太榛原・中東遠地区 2 町として調査対象市町を抽出
 - ⑤以上により抽出された市町は、
市：23 市（31 箇所 ※静岡市 3 区、浜松市 7 区）
町： 9 町（対象外の町：河津町、松崎町、川根本町）
 - ⑥各層において、③にて配分した標本数を調査対象市町の 18 歳以上の人口数により各市町に比例配分

地域別の割り振り	18歳以上人口	配分比	抽出数	回収数	回収率
静岡県（総計）	3,046,548	100.0	5,500	2,690	48.9
伊豆半島地域	199,301	6.5	380	173	45.5
東部地域	789,344	25.9	1,413	645	45.6
中部地域	589,308	19.3	1,056	499	47.3
志太榛原・中東遠地域	761,782	25.0	1,380	673	48.8
西部地域	706,813	23.2	1,271	635	50.0
居住地無回答				65	

(5) 調査回収結果 有効回収数 2,690 人 (48.9%)

地域別の市町の割り振り	18歳以上人口	配分比	抽出数	回収数	回収率
静岡県 (総計)	3,046,548		5,500	2,690	48.9
伊豆半島地域	199,301		380	173	45.5
市部計	174,989	87.8	315	138	43.8
町部計	24,312	12.2	65	35	53.8
東部地域	789,344		1,413	645	45.6
市部計	680,722	86.2	1,219	559	45.9
町部計	108,622	13.8	194	86	44.3
中部地域	589,308		1,056	499	47.3
市部計	589,308	100.0	1,056	499	47.3
志太榛原・中東遠地域	761,782		1,380	673	48.8
市部計	722,696	94.9	1,299	636	49.0
町部計	39,086	5.1	81	37	45.7
西部地域	706,813		1,271	635	50.0
市部計	706,813	100.0	1,271	635	50.0
居住地無回答				65	

市町別の割り振り

伊豆半島地域	18歳以上人口	抽出数	回収数	回収率
熱海市	33,200	60	17	28.3
伊東市	57,307	103	43	41.7
下田市	18,554	33	17	51.5
伊豆市	25,922	47	29	61.7
伊豆の国市	40,006	72	32	44.4
東伊豆町	10,618	28	16	57.1
南伊豆町	7,051	19	10	52.6
西伊豆町	6,643	18	9	50.0
東部地域				
沼津市	163,525	293	120	41.0
三島市	91,061	163	80	49.1
富士宮市	107,647	193	91	47.2
富士市	204,112	365	175	47.9
御殿場市	71,879	129	61	47.3
裾野市	42,498	76	32	42.1
函南町	31,481	56	26	46.4
清水町	26,655	48	21	43.8
長泉町	34,719	62	25	40.3
小山町	15,767	28	14	50.0
中部地域				
静岡市葵区	211,942	380	190	50.0
静岡市駿河区	178,521	320	152	47.5
静岡市清水区	198,845	356	157	44.1

市町別の割り振り

志太榛原・中東遠地域	18歳以上人口	抽出数	回収数	回収率
島田市	80,777	145	65	44.8
磐田市	138,893	250	130	52.0
焼津市	115,332	207	111	53.6
掛川市	95,431	172	83	48.3
藤枝市	118,722	213	96	45.1
袋井市	70,621	127	59	46.5
御前崎市	26,138	47	24	51.1
菊川市	39,219	70	39	55.7
牧之原市	37,563	68	29	42.6
吉田町	23,982	50	25	50.0
森町	15,104	31	12	38.7
西部地域				
浜松市中区	194,979	350	167	47.7
浜松市東区	106,135	190	104	54.7
浜松市西区	90,351	162	79	48.8
浜松市南区	83,469	150	69	46.0
浜松市北区	78,075	141	68	48.2
浜松市浜北区	80,072	144	81	56.3
浜松市天竜区	24,667	46	28	60.9
湖西市	49,065	88	39	44.3

・人口数は令和元年10月1日現在の静岡県推計人口年報の結果を採用
 ・回収数は有効回収数を表記

3 調査の項目

- (1) 森林に期待する働き
- (2) 「森の力」が低下することに対しての問題意識
- (3) 「森の力再生事業」への評価
- (4) 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度
- (5) 「森の力再生事業」の継続に対する判断
- (6) 森の力再生事業や森林（もり）づくり県民税についての意見や感想
- (7) 回答者属性 性、年代、仕事の業種、居住地の市町、居住地の周辺環境

4 調査の実施機関

株式会社東京商工リサーチ

5 報告書の見方

- ◆結果は百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- ◆数値やグラフの中の「件数」、「n」（number of case の略）は回答者総数（あるいは分類別の該当者数）を示し、回答比率はこれを100%であらわした。
- ◆調査対象者の属性に無回答があるため、数表や図表の内訳の合計が全体の回答者数と異なる場合がある。無回答は全体の比率計算に含めている。

Ⅱ 調査結果

調査回答者の属性

問7 あなたの性別を教えてください。（1つだけ○をつけてください。）

	回答数	男性	女性	無回答
合計	2,690件	1,258件 46.8%	1,428件 53.1%	4件 0.1%

問8 あなたの年齢はおいくつですか。（1つだけ○をつけてください。）

	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
合計	2,690件	25件 0.9%	106件 3.9%	240件 8.9%	466件 17.3%	580件 21.6%	627件 23.3%	642件 23.9%	4件 0.1%

問9 あなたのお住まいの周りの状況をお答えください。（1つだけ○をしてください。）

	回答数	住宅の多い地区	商店の多い地区	農地の多い地区	森林の多い地区	無回答
合計	2,690件	1,681件 62.5%	150件 5.6%	569件 21.2%	279件 10.4%	11件 0.4%

問10 あなたのお住まいの市町をお答えください。（1つだけ○をつけてください。）

	回答数	伊豆半島地域	東部地域	中部地域	志太遠榛地原域・	西部地域	無回答
合計	2,690件	173件 6.4%	645件 24.0%	499件 18.6%	673件 25.0%	635件 23.6%	65件 2.4%

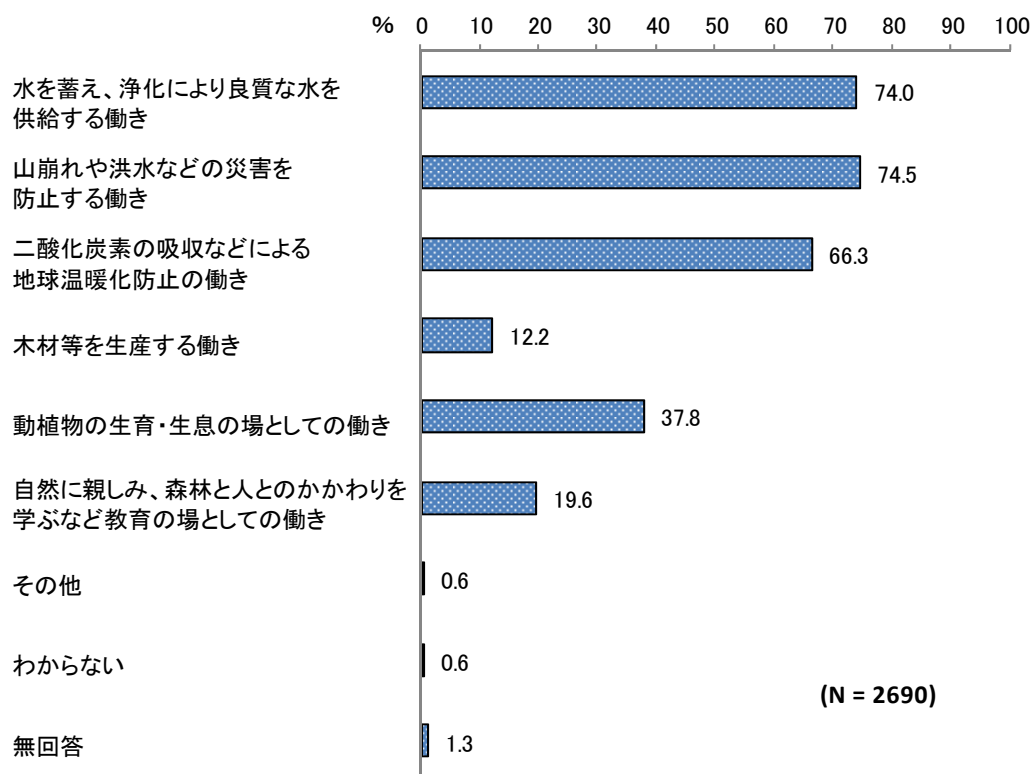
問11 あなたのお仕事を教えてください。二つ以上のお仕事をお持ちの人は、収入の多い方の仕事を1つ教えてください。（1つだけ○をつけてください。）

	回答数	就業業種別（くくり）						無回答
		1次産業就業者	2次産業就業者	3次産業就業者	その他の就業者	学無職・他主婦（夫）	無職（収入あり）	
合計	2,690件	39件 2.1%	267件 14.6%	634件 34.7%	48件 2.6%	325件 17.8%	449件 24.6%	65件 3.6%

森林に期待する働き

問1 静岡県は県土の3分の2を占めている森林は私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらしています。あなたは、森林にどのような働きを期待していますか。
(特に期待する内容について3つまで○をつけてください。)

森林に期待する働きについて、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」が74.5%と最も高く、次いで「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」が74.0%、「二酸化炭素の吸収などによる地球温暖化防止の働き」が66.3%と続いている。



- ◆ 性・年代別にみると、男性はどの年代も「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」が最も高いのに対し、女性は「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」や「二酸化炭素の吸収などによる地球温暖化防止の働き」が最も高くなっている。
- ◆ 地域別にみると、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」は伊豆半島地域（80.3%）、東部地域（75.8%）、志太榛原・中東遠地域（75.0%）の3地域で最も高く、「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」は中部地域（73.9%）、西部地域（75.3%）の2地域で最も高くなっている。

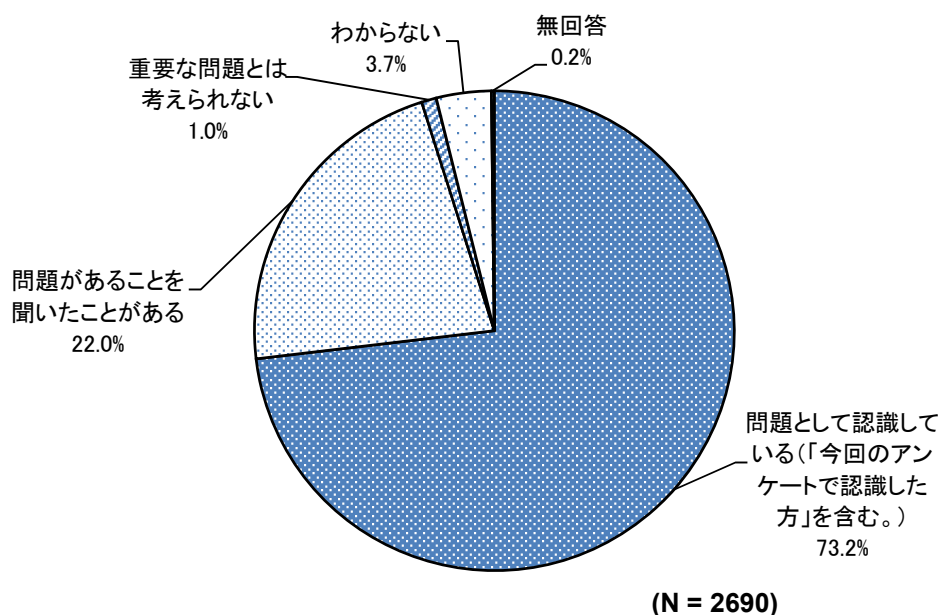
	回答数	水を蓄え、浄化による良質な水を供給する働き	山崩れや洪水などの災害を防止する働き	二酸化炭素の吸収などによる地球温暖化防止の働き	木材等を生産する働き	動物の生育・生息の場の生育働き	自然に親しみ、森林などのかわりとして学ぶなどの働き	その他	わからない	無回答
合計	2,690件	1,991件 74.0%	2,003件 74.5%	1,783件 66.3%	327件 12.2%	1,016件 37.8%	526件 19.6%	16件 0.6%	16件 0.6%	35件 1.3%
男性 年代別	男性 10代	12件 75.0%	66.7%	75.0%	8.3%	58.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性 20代	46件 67.4%	65.2%	65.2%	23.9%	34.8%	19.6%	0.0%	0.0%	2.2%
	男性 30代	98件 73.5%	67.3%	56.1%	13.3%	44.9%	27.6%	1.0%	0.0%	2.0%
	男性 40代	211件 72.5%	67.3%	58.3%	17.1%	44.5%	24.6%	0.9%	0.9%	1.4%
	男性 50代	253件 79.1%	71.1%	66.0%	9.9%	43.5%	17.8%	1.2%	0.4%	0.8%
	男性 60代	308件 82.8%	74.7%	65.9%	14.3%	35.7%	13.6%	0.0%	0.3%	1.0%
	男性 70歳以上	330件 82.1%	74.8%	63.0%	16.7%	24.8%	20.3%	1.5%	0.3%	1.8%
女性 年代別	女性 10代	13件 53.8%	84.6%	76.9%	0.0%	53.8%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 20代	59件 64.4%	62.7%	72.9%	10.2%	50.8%	23.7%	0.0%	0.0%	1.7%
	女性 30代	142件 60.6%	69.7%	67.6%	11.3%	46.5%	31.0%	0.0%	0.7%	0.7%
	女性 40代	255件 67.1%	70.6%	72.2%	10.6%	43.1%	22.7%	0.8%	0.4%	1.2%
	女性 50代	327件 69.4%	79.8%	67.6%	11.3%	43.4%	15.3%	0.6%	0.3%	0.9%
	女性 60代	319件 73.7%	84.0%	71.5%	10.7%	33.2%	16.0%	0.0%	0.0%	1.3%
	女性 70歳以上	312件 74.7%	76.9%	65.7%	7.1%	28.8%	19.9%	0.3%	2.6%	1.6%
地域別	伊豆半島地域	173件 72.8%	80.3%	64.2%	9.2%	35.8%	16.8%	0.0%	1.2%	1.7%
	東部地域	645件 72.9%	75.8%	66.0%	9.6%	40.8%	20.6%	0.9%	0.6%	1.1%
	中部地域	499件 73.9%	70.7%	62.1%	13.0%	43.3%	21.2%	0.6%	0.4%	2.0%
	志太榛原・中東遠地域	673件 74.0%	75.0%	66.1%	14.9%	34.5%	19.6%	0.6%	0.6%	1.0%
	西部地域	635件 75.3%	75.1%	69.4%	12.8%	35.0%	17.8%	0.3%	0.6%	0.9%

※各集計軸で最も高い割合の選択肢について灰色で強調している。

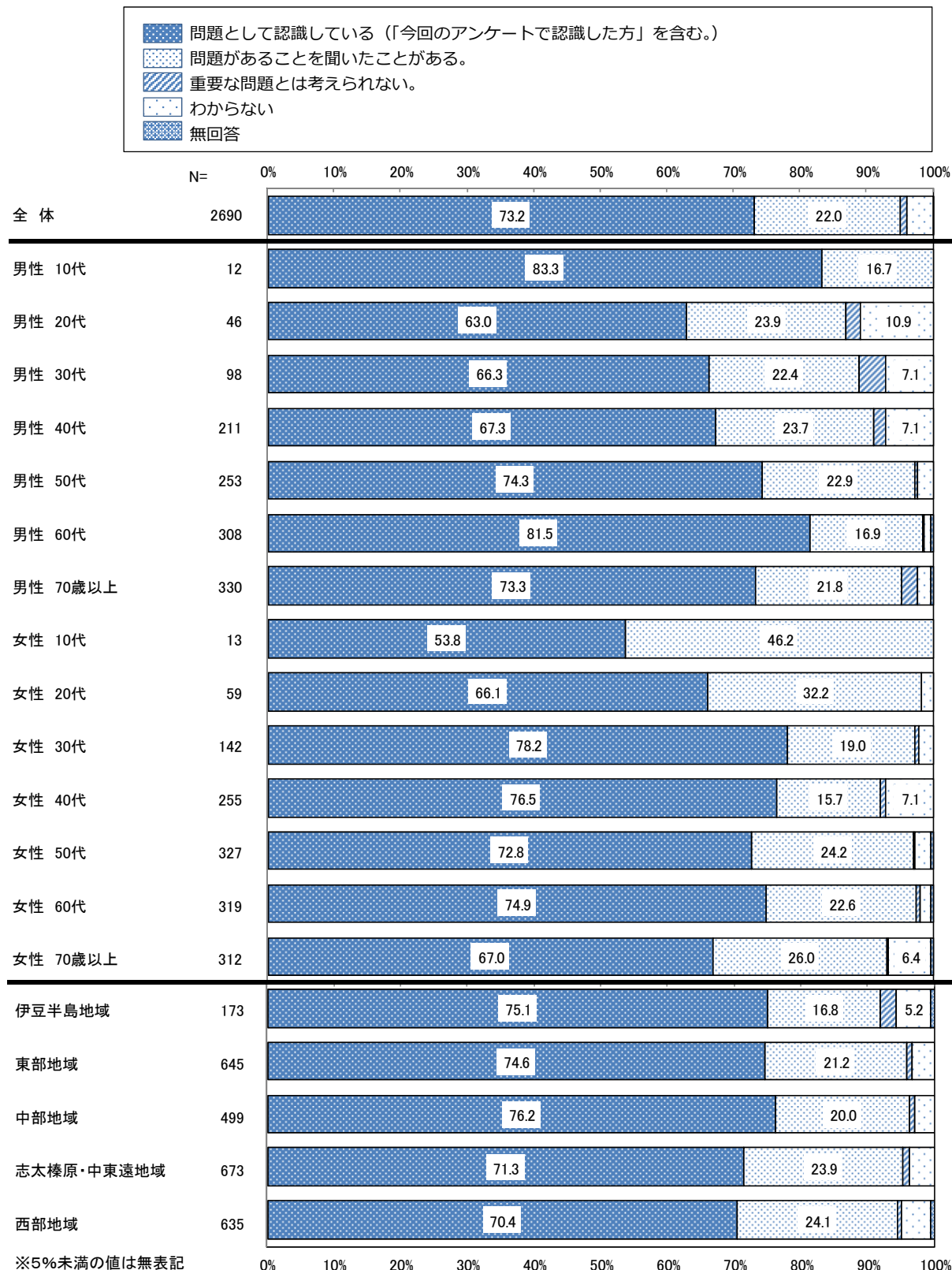
「森の力」が低下することに対する問題意識

問2 間伐が遅れている人工林、台風等により倒木が発生した人工林、放置された竹林など荒廃した森林が見られ、「山崩れの防止」や「水を蓄える」などの「森の力」が低下するおそれがあることについて、どのようにお考えですか。（1つだけ○をつけてください。）

「森の力」が低下することに対する問題意識について、「問題として認識している」が73.2%と最も高く、次いで「問題があることを聞いたことがある」が22.0%と続いており、ほとんどの回答者が「森の力」が低下することに対する問題を認知している。



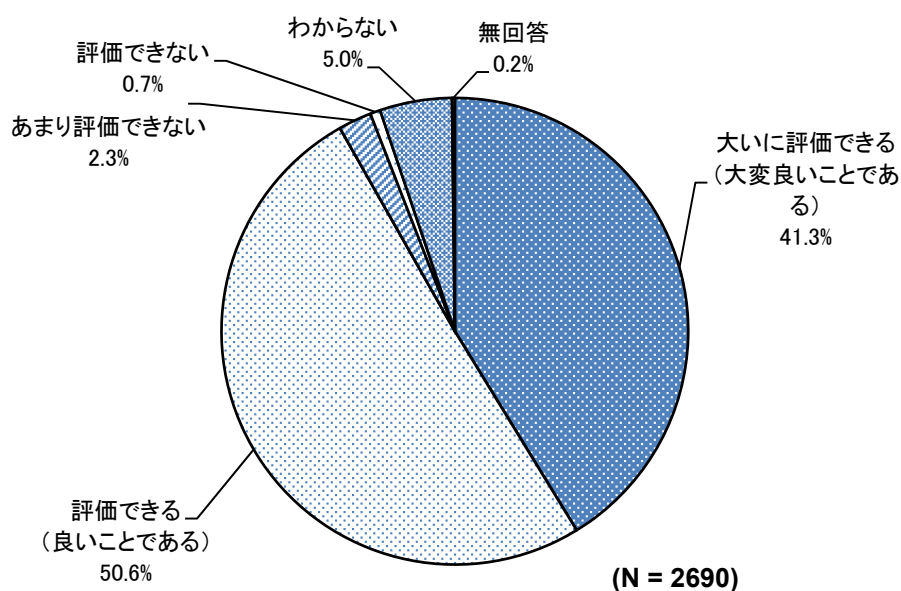
- ◆ 性・年代別にみると、「問題として認識している」と「問題があることを聞いたことがある」を合わせた問題を認知している割合が比較的低い層をあげると、男性 20 代 (86.9%)、男性 30 代 (88.7%) が 9 割を下回っている。
- ◆ 地域別にみると、問題を認知している割合は中部地域が 96.2%と最も高く、伊豆半島地域が 91.9%で最も低くなっている。



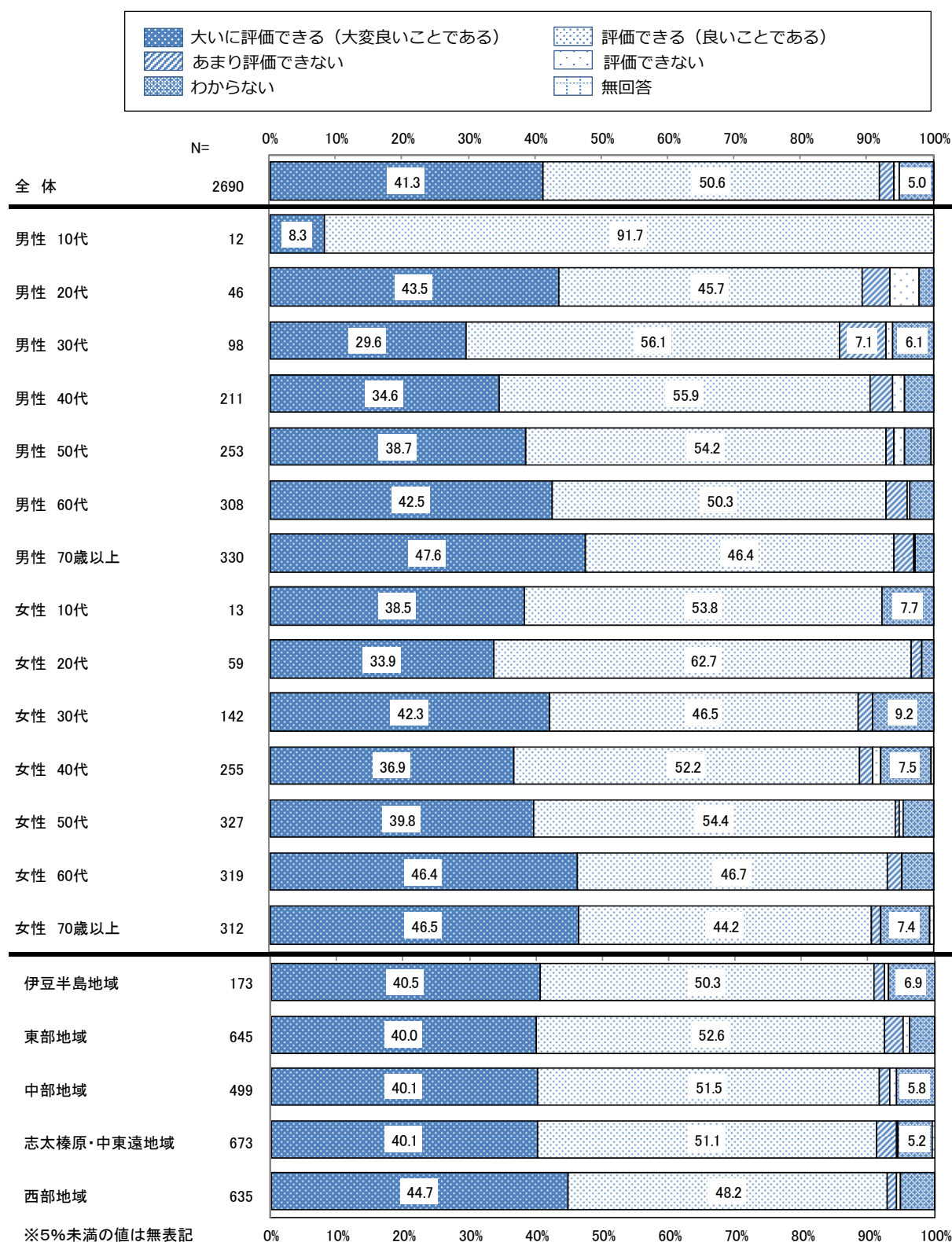
「森の力再生事業」への評価

問3 静岡県では、平成18年度から、県民の皆様には「森林（もり）づくり県民税」を負担していただき、「森の力再生事業」を実施してきました。この事業により、今年度末までには約1万8千ヘクタール（浜名湖約3個分に相当する面積）の荒廃森林が再生されますが、このことについて、どのようにお考えですか。（1つだけ○をつけてください。）

「森の力再生事業」への評価について、「評価できる」が50.6%と最も高く、次いで「大いに評価できる」が41.3%と続いており、9割以上の回答者が「森の力再生事業」を評価している。



- ◆ 「大いに評価できる」は男女ともに70歳以上で最も高く、年代が上がるにつれて、おおよそ高くなる傾向にある。
- ◆ 性・年代別にみると、「大いに評価できる」と「評価できる」を合わせた評価している割合が比較的低い層をあげると、男性20代(89.2%)、男性30代(85.7%)、女性30代(88.8%)、女性40代(89.1%)が9割を下回っている。
- ◆ 地域別にみると、大きな差異はみられない。

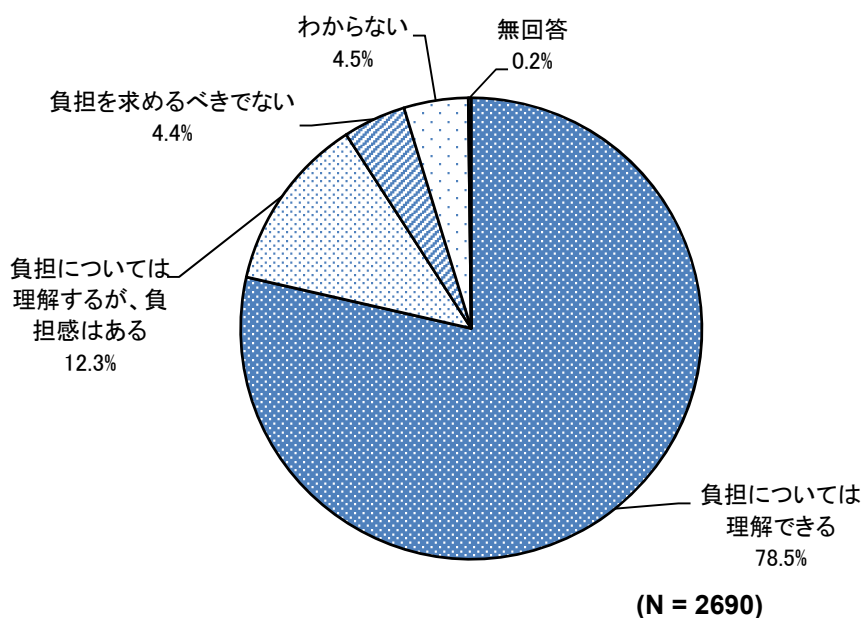


「森林(もり)づくり県民税」を負担することへの理解度

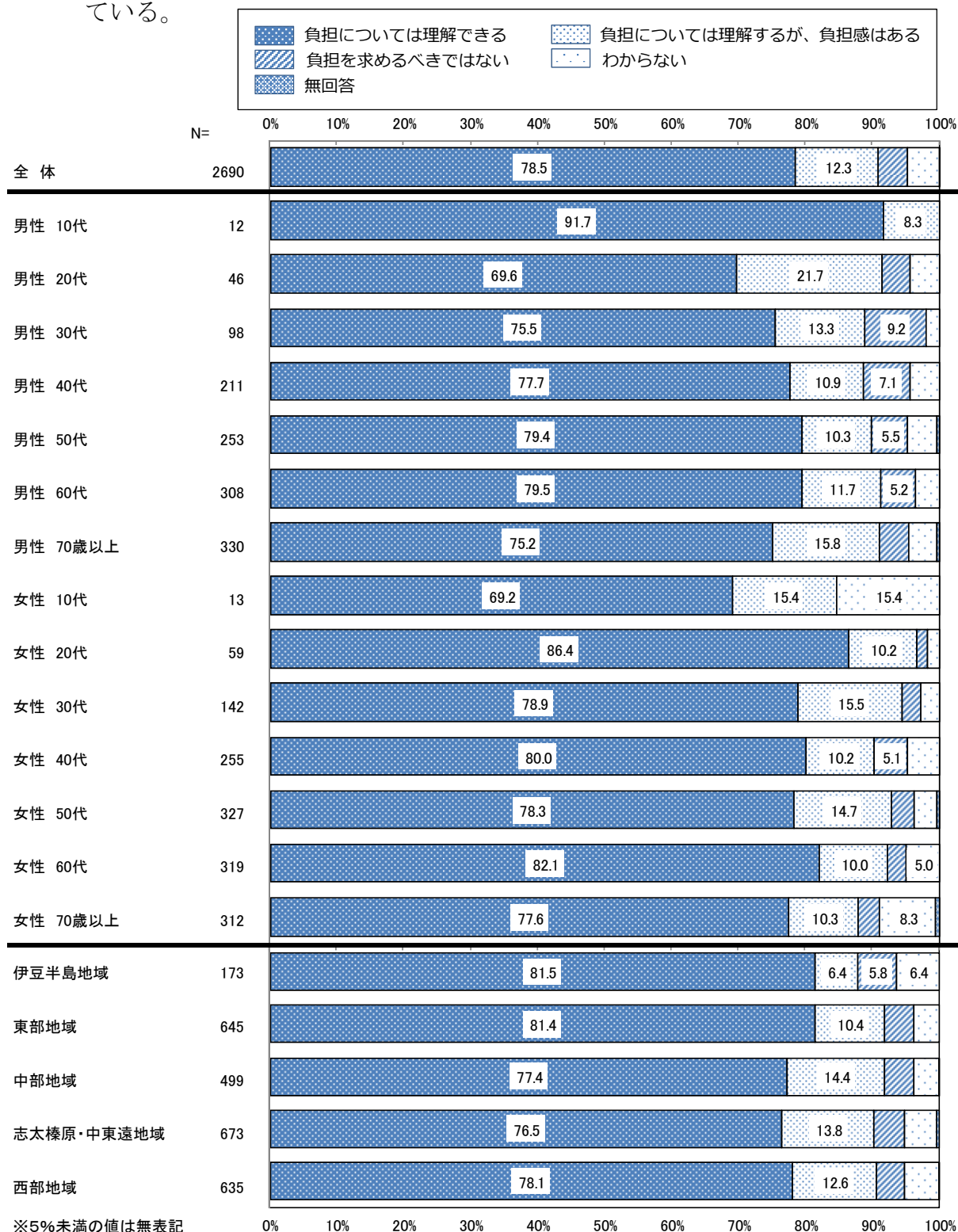
問4 「森林(もり)づくり県民税」は、個人の方は年額400円を負担していただいています。このことについて、どのようにお考えですか。(1つだけ○をつけてください。)

「森林(もり)づくり県民税」を負担することへの理解度について、「負担については理解できる」が78.5%と最も高く、次いで「負担については理解するが、負担感はある」が12.3%と続いており、9割以上の回答者が「森林(もり)づくり県民税」を負担することへ肯定的である。

一方で「負担を求めべきでない」は4.4%と、「森林(もり)づくり県民税」を負担することへ否定的な回答者は肯定的な回答者と比べて非常に少ない。



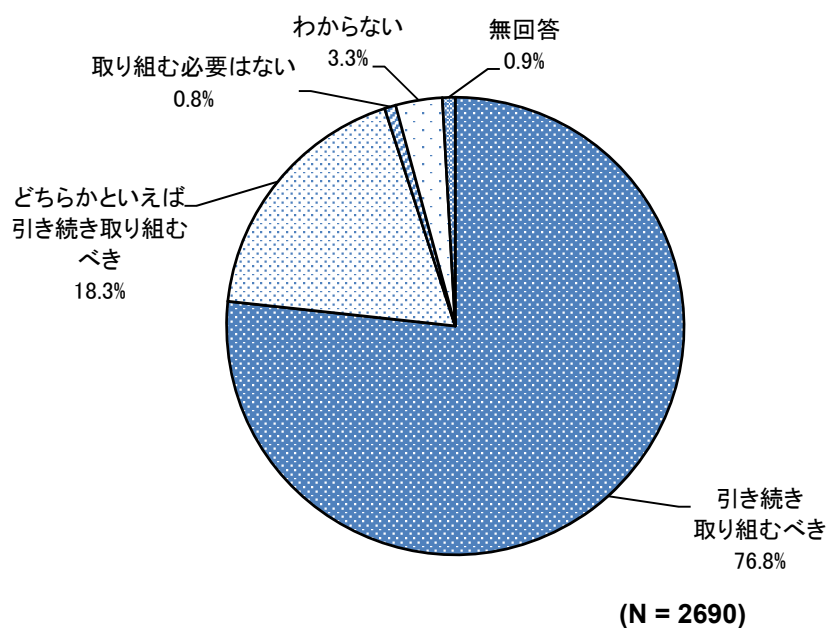
- ◆ 性・年代別にみると、「負担については理解できる」が比較的高い層をあげると、男性10代(91.7%)、女性20代(86.4%)が9割前後となっている。
- ◆ また、「負担については理解できる」と「負担については理解するが、負担感はある」を合わせた負担に肯定的な割合が比較的高い層をあげると、男性10代が100.0%となっている。
- ◆ 地域別にみると、負担に肯定的な割合は伊豆半島地域が87.9%と9割を下回っている。



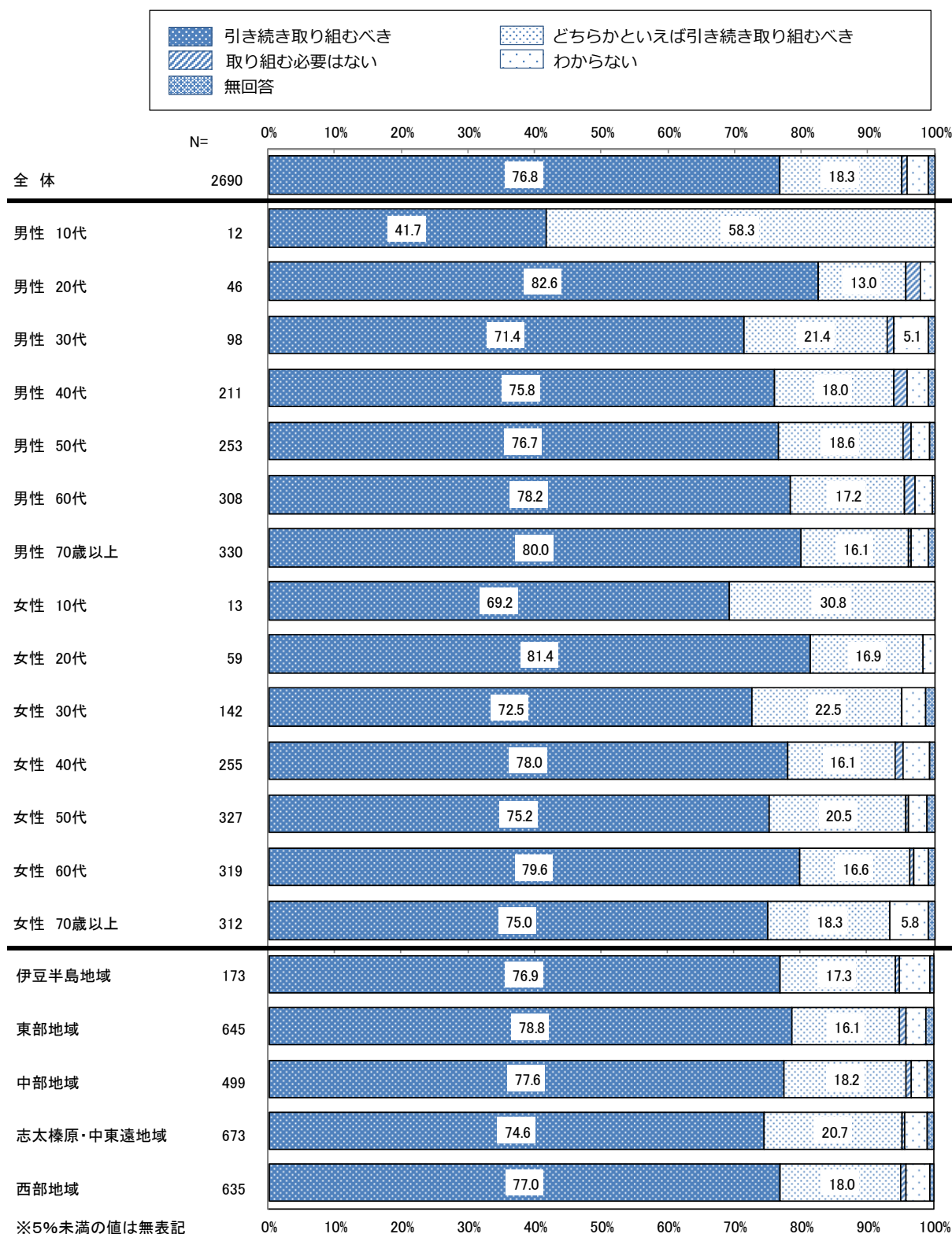
「森の力再生事業」の継続に対する判断

問5 緊急に整備すべき荒廃森林を再生するため、県が、市町と役割分担を明確にしなが、引き続き「森の力再生事業」に取り組むことについて、どのようにお考えですか。（1つだけ○をつけてください。）

「森の力再生事業」の継続に対する判断について、「引き続き取り組むべき」が76.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば引き続き取り組むべき」が18.3%と続いており、ほとんどの回答者が「森の力再生事業」の継続することへ肯定的である。



- ◆ 性・年代別にみると、「引き続き取り組むべき」について男女ともに20代が最も高く、10代が最も低くなっている。
- ◆ 地域別にみると、大きな差異はみられない。



※5%未満の値は無表記

未来への森づくり県民意識アンケート
調査報告書

令和2年7月

編集・発行：静岡県森林計画課

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2613